

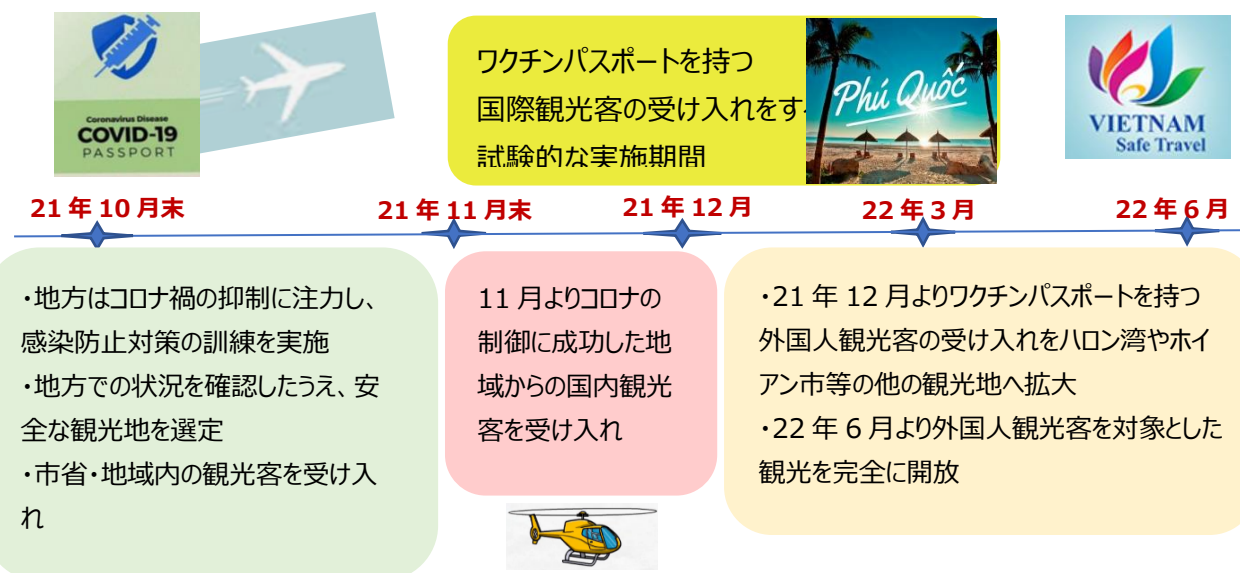
2021年11月2日

ベトナム、外国人観光客を受け入れへ；まずフーコック島

ベトナムが、外国人観光客の受け入れを11月末より再開する準備を進めています。「新型コロナウイルスと共存し安全な場所であれば観光を再開する」との方針に基づき、国内・国際観光の両方を再開するための各地方とのオンライン会議がこのほど開催されました。同会議で、文化スポーツ観光省の傘下にある観光総局(VNAT)のグエン・チュン・カイン局長は、安全な観光業を再開するロードマップを共有しました。

観光客受け入れの第1弾は南部の観光地フーコック島で試験的に実施され、ワクチン接種完了者は入国時の隔離が免除されます。フーコック島での試験事業が順調に進めば、世界遺産である北部ハロン湾や中部の古都ホイアンなど、全国の観光地に拡大する計画です。

コロナの感染リスクの低い地域から順次再開し、2022年6月からは外国人観光客の受け入れを完全に再開する方針です。詳細なロードマップは以下の通りです。



当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

10月より観光の再開に向け感染防止対策の訓練を行いました。同時に緊急事態への対応と必要なリソースの確保に関する計画を策定しました。そして安全な観光地を選定した上で、まずは域内の観光客を受け入れる見込みです。その選定結果に基づき、対応策を評価した後、11月末より新型コロナ制御に成功した地域からの国内観光客の受け入れを再開します。

現時点では、カインホア省の観光地ニャチャン市が市内の観光客に限り受け入れを開始しました。例えば、ニャチャン市の手観光業者は10月29日から週末にかけてビンワンダーニャチャン遊園地で観光客を受け入れています。

海外からの観光客の受け入れに関しては、前述の通りキエンザン省（南部メコンデルタ地方）のフーコック島で2021年11月20日～2022年3月の期間に試験的に実施されます。受け入れの対象となるのは日中韓や欧米豪など、ワクチン接種率が高く感染が比較的制御されている国々からの観光客です。最初の段階ではチャーター便に限定されますが、12月末から22年3月末まで月平均約5,000人の外国人観光客を、そして4月～6月末の期間には1万人までの受け入れが見込まれています。なお、フーコック島では10月29日の時点で18歳以上人口の93%が2回目のワクチン接種を完了させました。

フーコック島での試験を実施後、2021年12月～2022年6月の期間に、北部クアンニン省ハロン市、クアンナム省ホイアン市、ニャチャン市、ダラット市などに範囲を拡大します。最終的には、2022年6月から外国人観光客を対象とした観光を完全に開放する計画です。観光業はベトナムの国内総生産(GDP)に多大の貢献をする産業ですが、コロナ禍の影響で昨年から大打撃を受けています。コロナ禍をようやく克服し、上記の



ロードマップに則った準備作業にも順調に着手したことから、今後の観光業は大いに回復が期待されるところです。観光の全面的な再開に向け、慎重ながらも一歩ずつ着実に歩みを進めるベトナムです。

【写真提供：CPVN】
<http://www.capital-am.co.jp>

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。